

福井市まちづくりセンター「ふく+」の活用

まな種 18 with 仁短ゼミ発表

仁愛女子短期大学 教授 生活情報専攻 田中 洋一

仁愛女子短期大学生生活科学学科生活情報専攻で教える澤崎氏を中心として始めた「まなびの種プロジェクト（まな種）」では、自分がこれまで学んだことを5分間のプレゼンとして簡単に発表し、新しい学びの種を探します。1グループにつきプレゼンテーション5分+質疑応答5分で交代し、まな種1回で約10グループの発表&対話を行います。まな種には、私や本学卒業生が協力し、発表や質問以外にも受付や司会を担当しています。自治体職員や企業からの参加も多く、学生にとってはキャリア教育の場にもなっています。

2015年2月7日（土）13:30～15:30に福井市まちづくりセンター「ふく+」にて開催した「まな種18 with 仁短ゼミ発表」では、仁愛女子短期大学生生活科学学科生活情報専攻田中ゼミ4グループ（14名）及び澤崎ゼミ2グループ（5名）の学生が卒業研究の内容を発表し、一般の発表者は3名でした。

参加者は、先述したゼミ生19名、生活情報専攻で教える教員3名、田中ゼミの卒業生1名、仁愛大学の学生4名、仁愛大学の卒業生2名、福井県立大学の卒業生1名、福井工業高等専門学校の卒業生2名、その他一般の方7名でした。ゼミ発表をコラボした「まな種」は初めてでしたが、若者の参加が多く、大変盛り上がりました。



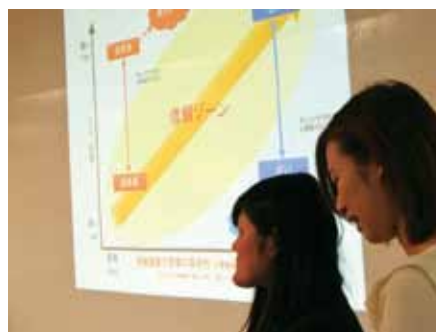
生活情報専攻の卒業研究・学外発表会自体も初めての試みでしたが、一般の方や他の大学生からの鋭い質問がとび、学生は多くのことを学ぶことができたようです。

【田中ゼミの発表タイトル】

- 笑顔になれる体験スポット『笑顔Map』の制作（こすもす組）
- かわいい動物とふれあえるトラベルガイドの制作（ちゅうりっぷ組）
- 池田町の魅力をつたえるHappyなメディア広報（すみれ組）
- 福井市市民憲章ソーシャルWebサイトの制作（ひまわり組）

【澤崎ゼミの発表タイトル】

- 実践から地域の活性化を考える（1）
－売れるお店の作り方～マーケティングの研究－
- 実践から地域の活性化を考える（2）
－売れるお店の作り方～実際に販売してみた結果の検証－



さいごに、澤崎ゼミの卒業研究は、『女子大生が考えた！シンプルな売れるお店の法則と地域活性化 女子大生が考えた！シンプルな売れるお店の法則と地域活性化—実践から地域活性化を考えた短大生の奮闘記』というタイトルの電子書籍で読めます。電子書籍化自体が地元の印刷会社とのコラボによる地域活性化策ですので、興味がある方はご覧ください。